

JAくしろ丹頂 広報誌

<u>vol.86</u>

● 人くしろ丹頂

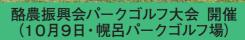
「合同会社 白糠 F-SEED」竣工式



	C (\sim	K I	_	_	N I	_	_
١	(' (()	IXI		-	N		5
1	\cup		I V		_	I V		\cup

● 平成26年度 秋季地区別懇談会 ————	1
○ 「白糠 F-SEED (エフ・シード)」 TMRセンター稼働 —	2
●第2回 釧路輓馬大会	
G'Grass (グッド・グラス) 2014	3
○ 2014北海道ホルスタイン ウインターフェア	4
●女性部幌呂支部「もぎたて市」で野菜販売	
青年部・女性部合同「根釧牛乳」の消費拡大PR活動	
職員コンプライアンス研修会	5
○農協法公布記念日にあたって — 6	. 7
● 普及センターだより ――――	8
▲ TPPつぼの売	~12

● 理事会報告 / 生乳生産実績 / 農業新聞広告 — 13



平成26年度 秋季地区別懇談会 開催



音 別 支 所

説明がありました。



白 糠 支 所

組合員の皆様方からは、 更正計画における各部門の 収支内容及び事業運営のあ り方、酪農経営の発展に対 する具体的施策などについ て質問・意見・要望等が出 されました。また、武藤組 されました。また、武藤組 されました。また、武藤組 されました。また、武藤組 されました。また、武藤組 からの提案事項があり ました。 出された質問・意見・要望 いて協議されます。 平成二十六年度 秋季地 | 平成二十六年度 秋季地 | 区(音別・白糠・幌呂)で区(音別・白糠・幌呂)で区(音別・白糠・幌呂)で | 規合員の皆様方におかれ | 組合員の皆様方におかれ | 組合員の皆様方におかれ | 銀合員の皆様方におかれ | 電産情勢、平成二十六年度 | 不成二十六年度 | 下の中、3日間で三十五名の方々に出席頂きました。 | 一次では、農作業等で御多 | での中、3日間で三十五名の方々に出席頂きました。 | 一次では、農作業等で御多ました。 | 一次では、農作業等で御多ました。 | 一次では、農作業等で御多い。



幌 呂 支 所

「自糠 F-ŠEED」TMRセンター稼働



会社名の由来

FはFoodの頭文字で「牛のえさ」を 意味し、SEEDは Siranuka (白糠)、 Effcient (効率的な)、Environment (環境)、Dairy (酪農) の頭文字で、'希望''豊穣''実を結ぶ'などの想いが込められております。 完成・本格稼働する運びに成・本格稼働する運びに、昨年七月から建設工事が進められ、ら建設工事が進められ、

十月十日、白糠町茶路 地区で、畜産担い手育成 総合整備事業(再編整備 型)による「合同会社 白 型)による「合同会社 白

組織概要

椲	声 成	員	13戸				
孚	L牛豆	頁数	経産牛685頭、乾乳牛106頭、育成牛594頭				
料面		料積					
愈	利料	共 給	 供給飼料内容 搾乳用TMR (25kgタイプ、30kgタイプ) 乾乳・育成用TMR 配送方法 ダンプ配送 メイズラップ (主に乾乳・育成用TMR) 				

生産コストの縮減を行 量向上により、 牛からの良質乳出荷と乳 年供給により、 となりました。 とを目指しております。 料の生産からサイレー 土地を集約化し、 同社設立の目的 安定 した TMR 助を担ってい 飼料供給までを 地域活性 健康 な乳の通 あ た

竣工式が執り行なわれ

第2回釧路輟馬大会開催



力強く駆ける輓馬



スタートダッシュを決めるポニー輓馬

楽毛神記念公苑特設輓馬

第2回釧路輓馬

月十九日、

釧路市大

大会が開催されました。

900 kg 重量60㎏(ポニー) 援と拍手が送られました。 行なわれ、 が二つあるコースを積荷 が競技大会に出場し、 輓馬の雄姿に馬主やご来 など種目別に14レ からポニー輓馬・ く競技が行なわれました 競技種目は、 (輓馬) 力強く駆ける のそりを引 ・ースが 山

G'Grass (グッド・グラス) 2014 開催される!!

ら輓馬51頭、

ポニー43頭

後援により、

全道各地か

釧路丹頂農協馬事振興会

会主催、阿寒馬事振興会



で熱心に説明を聞いておりました。 の皆さんは、フォーラムや展示ブー 乳生産の継続を目指し、 上と良質な飼料生産を推進する目 酪農対策協議会主催 ーラム&展示会)が開催されました。 ノ家畜市場で、 収益性の高い酪農経営と安定的な生 〔グッド・グラス〕2014」 (フォ 十月二十八日、 参加した管内の農業者・各関係者 釧路農協連・釧路地区 釧路市大楽毛ホクレ G_. 飼料自給率向 G 的

20141海道ホルスタイン ウインターフェア



入 賞 牛 一 覧 表 (当JA出品分)

部	順位	名 号	出品	者(地区)
1 立7	8位	HSY サンチエス ソレイユ ビスタ	細谷	智 (白糠)
1部	15位	IF マリー メード アツトウツド	増田	一真(鶴居)
3部	8位	HSY シド シヤフエリス ビスタ ET	細谷	智(白糠)
4部	11位	トライユーン プロム アイオーン	(農)清和	1農場(鶴居)
7部	3位	インペルタウン ゴールド オア タイム	増田	一真(鶴居)
11部	5位	ウツズスター エンペラー ブラツクストーン レオ	林	稔幸 (白糠)
1110	6位	アワープライド シド ブルーミン	植田	紘史(幌呂)

を 2014年北海道ホルスタイン ウインターフェアが開催 されました。 全道各地区から選抜された 全道各地区から選抜された

十月二十六日、十勝農協連

当JAからは、五農場より七頭が出品され、全道の高いレベルの出品牛がそろうなか健闘致しました。グランドチ健闘致しました。グランドチャンピオンは、大樹町 木村されの出品牛ローヤルランド ジユーデイ カツトラーが選出されました。
当JA出品者の成績は表の当よりです。



農家)が務めました。

4

女性部院呂支部「もぎたて市」で野菜販売

作った野菜は味も良く、皆さんに喜

んで頂ければ嬉しいです。」と笑顔

で対応しておりました。

新鮮な野菜を皆様へ!!

た。 駐車場で、JA女性部幌呂支部が「も 全・安心をモットーに愛情を込め ヤーコン、春菊、 様々な種類の野菜 ぎたて市」 店頭に並ぶと多くのお客様で賑わい 午前10時、 吉田鈴子支部長は、 十月五日、 野菜即売会を開催しまし セイコーマート幌呂店 部員達が持ち寄った ズッキーニ等)が (大根、とうきび 「部員達が安

青年部・女性部「根釧牛乳」の美味しさをPR!!

の牛乳消費拡大運動が実施されまし

Aくしろ丹頂青年部・女性部合同

ッピングセンター十月二十五日、イ

「ジャスコ」で

イオン釧路昭和シ

青年部員・女性部員の十六名が、 古内に設置された特設売り場で、「根 調牛乳」と根釧牛乳にブルーベリー 類中乳」と根釧牛乳にブルーベリー 無料配布しました。 無料配布しました。 無料配布しました。 無料配布しました。 無中賢成青年部長は、「牛乳の美 無中配布しました。 大に少しでも貢献していきたい。」 と述べ、この日「根釧牛乳」の売上 と述べ、この日「根釧牛乳」の売上 と述べ、この日「根釧牛乳」の売上 と述べ、この日「根釧牛乳」の売上



お客様の反応も上々



白糠支所

十月八・十日、当JA本所及び白糠支所で全職員を対象としたコンプライアンス・個人情報取扱研修会が開催されました。 目頃、業務上での情報管理と守秘義務について、個人情を守秘義務について、個人情と守秘義務について、個人情と守秘義務について、個人情と守秘義務について、個人情と守秘義務について学びました。今後も研修会等の継続実施により、不祥事未然防止対策に取り組んでまいります。

職員コンプライアンス



『農協法公布記念日にあたって ~平成26年11月19日~』

北海道農業協同組合中央会会 長 飛 田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され、今年で67年目を迎えました。 戦後の混乱期を背景とした中で、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業 者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協 法が制定され農協が設立しました。

言うまでもなく、農協は「農民による農民のための組織」として発足いたしましたが、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立った中で、相互扶助の精神のもと、農協を拠り所として幾多の困難な課題を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の構築に向けた事業展開を行いながら、今日に至っています。

また、農協法は、時代の変化に即して必要な改正を重ねておりますが、農協の組織・事業を 運営する基本法として、重要な位置づけ・役割を担っています。

このような経過の中、現在、規制改革の名のもと、農協組織改革に関し、各般にわたる論議がなされておりますが、農協法公布記念日を契機に、改めて農協が果たす社会的意義と役割について思いをはせ、共通認識を深める必要があります。

かかる状況のもと、JAグループ北海道はその時々の国の農業政策を実践してきたという自 負のもと、これまでの事業を再評価し、改めて組合員の皆様の多様な意見を把握するべく組織 討議を実施いたしました。

これらの取組みをもとに、今般、「JAグループ北海道改革プラン-実行計画指針-」としてとりまとめ、今後、その内容を踏まえ、JA・連合会・中央会は具体的な事業展開をはかることとしています。

「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」をはかるべく、改めてJAグループが総力を結集し、国民各層の理解と共感を得ながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進していくことが重要であります。

新たな動きとして、先般、傘下組合員10億人から成る国際協同組合同盟(ICA)が農協改革に関する声明をまとめました。

声明では、「2014年が国連の国際家族農業年として定められている中、今般の日本政府の農協組織改革案は、農家による協同組織の結束と繁栄を脅かすものである」旨の懸念が示されております。

日本の農協組織に対して、国際的な組織から力強いメッセージが発信されており、自らの組織は自らの意志で運営し発展させていくという信念と覚悟が肝要であるとの思いを新たにするものであります。

一方、日本の将来に関する重要課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にありますが、農畜産物の関税撤廃のみならず、 ルール改定や規制撤廃を通じ、国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であるとの 認識に立ち、改めて国会決議の順守を強く求めるとともに、国民理解の醸成に向けた活動を展 開していく所存です。

農業・JAをとりまく情勢は、依然として激動しておりますが、我々の先人達も、英知と力を結集し、その時々の困難な状況を乗り越えてきました。

いつの時代にあっても共通して言えることは、食料は命に直結するものであり、生活に欠かすことができない極めて重要な位置づけにあるということです。

世界的に見ても、将来、人口増加とともに食料需給の逼迫が現実的な問題となっている中、農業というものを競争原理主義一辺倒で捉えるのではなく、それぞれの国・地域における多様な農業の共存をはかり、持続可能な生命産業としてどう発展させていくかという、大局的な視点で捉えることが極めて重要であります。

我々、農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心を持ち、併せて、農業・JAに対する国民の理解と共感を得る不断の努力を行いながら、先代が長年かけて築きあげてきた本道農業並びに農業協同組合の礎をさらに発展させ、後世にしっかり継承できるよう、共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

普及センターだより

釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

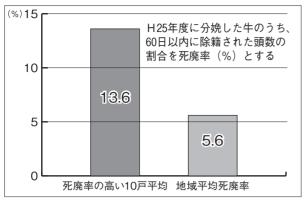
らしていると考えられます。

される頭数が多く、

出荷乳量を減

農場では生産性の高い時期に淘汰

(共済調査)。 死廃率が高い



管内A地域における平均死廃率の違い

ているのでしょうか。 ちることだといわれています。 ることによって分娩前の喰いが落 んな時に牛たちはストレスを受け は、 分娩後に疾病が起きる原因の 様々なストレスが牛に加わ ど

乾乳牛の管理につ

しり

7

「ストレス」低減で

腹が減ってつらい

ない場合の理由の一つは経産牛の

死廃率が高いことです。

左図は普及センター管内のある

るにはそれに見合った経産牛頭数

しかし計画に達成し

経営に必要な出荷乳量を達成

分娩後の疾病を減らそう~

満足感を与えることです。 えられます。大切なのは飽食させ け分娩前に喰いが落ちることが考 らいばかりです。この状態が長く にいても肝心のエサが無ければつ 面を見かけます。パドックで自由 けていたり、 なりますが、 ろからはサイレージ主体の給与と 搾乳を中止して一週間過ぎたこ 牛は大きなストレスを受 量が不足している場 よく見ると腐敗しか

発生した牛が分娩後二か月間でど

地域において、

分娩前後に疾病を

れだけ除籍されたかを示したもの



-杯食べて横臥する乾乳牛達

タイストールはスタンチョンに比べて 寝起きしやすい

Ξ 移動が多くて落ち着かない

を完了させましょう。 れるのに時間がかかります。 て移動を繰り返しています。 十日前には分娩させる場所に移動 によって環境が変化すると牛は慣 牛達は「乾乳」、「分娩」を迎え 分娩 移動

げることができます。

ストレスは人の管理によって和ら

このように、

乾乳牛達にかかる

っと農業者皆さんの期待に応えて

分娩を事故なく終えた牛達はき

くれるに違いありません。

寝起きするのがつらい

ます。 件です。 娩後の疾病を防ぐために必要な条 えます。寝起きしやすいことは分 して胎児の体位を変えて分娩に備 また分娩直前には寝起きを繰り返 きしやすい牛床であることです。 然と減退し、乾物摂取量が減少し 動作は緩慢になります。 胎児が大きくなってくると牛の この時期に大切なのは寝起 食欲は自

いように注意しましょう。



頭ではさびしい

兀

です。人が観察しやすいことはも を使用する時は、 牛を見たことがあります。 牛達を身近に感じられる場所が良 ちろんですが、分娩する牛が他 た分娩房の事例で、 いでしょう。 分娩房の設置場所はとても重 食欲が急に落ちてしまった 塔型サイロを改造 牛を孤立させな 他の牛達が見 分娩 L 0

分娩房の場所は他の牛達が見える位置に あると良い



先週は日米二国間協議の状況について少し理解できました。 ところで、TPP は日米二国間の問題だけではないですよね。TPP 交渉全体の状況は どうなっているのでしょうか。

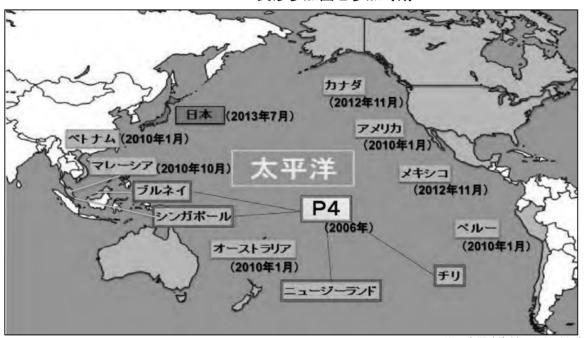


米国は、「グローバルな貿易の新しい基準」の確立を目指して、日本だけではなく、他の 交渉参加国に対しても多くを要求しているんじゃが、なにしろ交渉参加国が 12 カ国もい るので、協議は難航しておっての。ベトナムでの首席交渉官会合も、大きな進展がなかっ たようじゃ。

今回は、**TPP交渉における米国の狙いと交渉を複雑にする参加国の多様性**について解説するぞい。

まずは下の図と表で TPP 交渉各国と参加時期をおさらいしよう。

◆ TPP交渉参加国と参加時期



※ 内閣府資料にもとづき作成。

| 2006 年 9月 | シンガポール、N Z、チリ、ブルネイからなるP 4 協定発効。 | P 4 に加え、米、豪州、ペルー、ベトナムの8カ国で交渉開始。 | マレーシアが交渉参加し、計 9 カ国に。 | カナダ、メキシコが交渉参加し、計 11 カ国に。 | 日本が交渉参加し、計 12 カ国に。

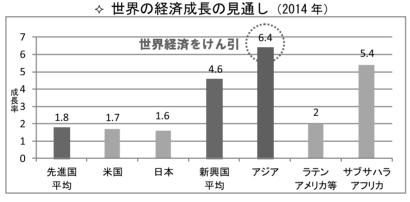
考えてみよう/**TPPのこと** ウェブサイトはこちら http://www.think-tpp.jp/

発行:全国農業協同組合中央会

1.「TPPの輪郭」に見る米国の狙い

TPP の原形は、2006 年に発効した P4 (Pacific 4) 協定で、当初は4カ国(シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ)による、数多くある FTA の1つにすぎませんでしたが、米国の参加表明を契機に注目を集め、他の国も相次いで交渉に加わりました。そして、現在は日本を含めて計 12 カ国で交渉が進められています。

米国オバマ大統領は、TPP 交渉を開始した年(2010 年)の一般教書演説で、「今後5年間で輸出を倍増させ、200万人の雇用を創出する」国家輸出戦略を打ち出しましたが、この背景には、成長著しいアジアに進出するという狙いがあったと考えられます。IMF によれば、2014 年度の先進国・地域の経済成長率は 1.8%、一方で新興国は 4.6%、中でもアジアは 6.4%と世界経済のけん引役となっています。米国が参加表明した 2008 年当時、米国がアジア諸国と妥結に至った二国間 FTA は、シンガポールと韓国の 2 カ国のみでした1。そこで米国は、P4 協定を足掛かりにアジアへの進出を加速化しようとしたのです。



※1 「世界経済見通し改定見通し」(IMF、2014年7月)より作成。 ※2 ラテンアメリカ等にはカリブ諸国が含まれる。

また、米国企業にとっては、進出先で不利な環境に置かれないようにすることも 重要です。特に、米国では金融、コンテンツ²、製薬、農業(酪農・砂糖以外)等が 比較優位産業であり、米国の歴代政権は、自国と同じ競争条件を確保するという意 味での「公平な条件(level playing field)」を各国に求め続けてきました。

2011年のTPP 首脳会議(米国・ホノルル)で確認された「TPP の輪郭」では、こうした米国の通商政策が如実に反映されており、「包括的で高い水準の協定」であるための「重要な特徴」「範囲」には、次頁の内容が掲げられています。

¹ 米韓 FTA は 2007 年 6 月に調印されたものの、その後再協議がなされ、最終的に 2012 年 3 月に発効した。

² コンテンツ産業とは、映画、アニメ、ゲーム、書籍、音楽等の制作・流通を担う産業の総称。

◇ 「TPPの輪郭」(一部抜粋)

<重要な特徴>

○ 包括的な市場アクセス:

関税並びに物品・サービスの貿易及び投資に対するその他の障壁を撤廃

〇 地域全域にまたがる協定:

TPP参加国間の生産とサプライチェーンの発展を促進

〇 分野横断的な貿易課題:

規制制度間の整合性、競争力及びビジネス円滑化、中小企業、開発

新たな貿易課題:

デジタル経済やグリーン・テクノロジーに関連するものを含む革新的な製品及びサービスの貿易及び投資を促進

〇 「生きている」協定:

将来生じる貿易の課題及び新規参加国に伴う協定の拡大から生じる新しい課題に対応

これらの特徴により、TPPは、世界の経済においてTPP参加国が競争力を高めていくために、グローバルな貿易の新しい基準を設立し、次世代の課題を包含する、画期的で 21 世紀型の貿易協定となる。

<範囲>

(交渉参加国は)自由化約束の適切な段階的実施等を通じ、途上国メンバーが直面するセンシティビティ及び特有の課題に適切に対応³

一方で、米国には、自国の国際競争力の弱い分野や国内法は守るという立場や 主張が見られ、その交渉姿勢は各国からの反発を招いています。

◆ 米国の交渉姿勢(一例)

物品市場	○ 既に2国間 FTA を締結した国とは再交渉をしない方針のもと、砂糖を除外するなどの FTA を結んでいる豪州に対しては、市場アクセス交渉を拒否。					
アクセス	○ 一方で、NAFTA(北米自由貿易協定)を締結しているカナダに対しては、乳製品 や鶏肉の市場開放を要求。					
原産地規則	○ 綿花生産者や衣料品製造業者を保護するため、原産地規則として「ヤーン・フォワード原則⁴」を主張。米国は交渉参加国のなかでは主要な綿花生産国であり、主に輸入原料を使用して衣料品を製造・輸出するベトナムからの輸入をおさえるとともに、自国の綿花を使用させたい意向も。					
政府調達	○ 既存の WTO の政府調達協定 (GPA) 5未締結の国 (日本、カナダ、シンガポール 以外の8カ国) に政府調達市場を開放することを要求。 ○ 一方で、米国ではバイ・アメリカン法等により、政府調達における自国製品の購入 を原則として義務化。USTR は「TPP 交渉において州政府の政府調達市場の開放は行わず、現状以上の新しい約束はしない」と公言6。					



あの米国でさえ、自分の「弱い部分」を守ろうとしているとは驚きです。

³ WTO 協定では、途上国等に対して、義務の免除や緩和等、「特別」または「(先進国とは) 異なる」扱い (Special and Differential treatment: S&D) を認めているが、TPPでは、途上国には一定の移行期間が設けられることが検討されているものの、最終的には先進国・途上国ともに同一ルールを適用することを米国は求めている。

⁴ ヤーン・フォワード原則は、北米自由貿易協定 (NAFTA) 等で採用されている原産地規則で、関税減免の対象となる 繊維・衣料品を、原糸・綿から協定参加国で生産されたもののみに限定するもの。一方、ベトナムは現在、中国からの 輸入原料を使用して衣料品を製造・輸出しており、ヤーン・フォワード原則の例外扱いを主張。

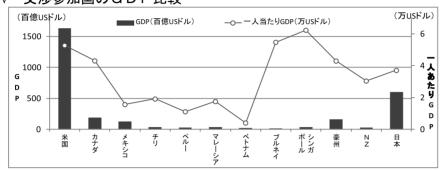
⁵ WTO の政府調達協定 (GPA) は、外国人と自国民に対し、同等 (無差別) の待遇を与える「内国民待遇」を原則としており、政府調達を実施する際の入札参加資格等を定めている。

⁶ USTR "The Facts about Government Procurement and TPP: TPP Promotes Buying American Across the Globe"、2014 年 7 月 30 日。同日、米国下院議員 122 名(超党派)は、TPP はバイ・アメリカン制度への脅威になるとし、譲歩を行わないよう求める書簡をオバマ大統領に送付していた。

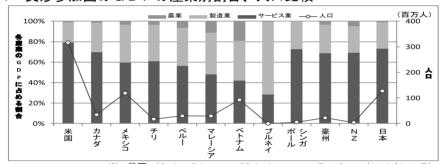
2. 交渉を複雑にする交渉参加国の多様性

TPP 交渉は当初、2011 年のハワイ APEC 首脳会議までの交渉妥結を目指しましたが、妥結目標時期は都度延期されてきました。交渉が難航する背景には、米国主導の高い要求水準と米国の矛盾する交渉姿勢に対する各国の反発に加え、交渉参加12 カ国の経済規模や産業構造が異なり、各国がそれぞれ政治・社会情勢や歴史文化等に起因するセンシティビティを抱えているという事情があります。

⇒ 交渉参加国のGDP比較



◆ 交渉参加国のGDPの産業別割合、人口比較



英国、National Accounts Main Aggregates Database (2013 年 12 月)、米国 中央情報局 THE WORLD FACTBOOK より作成。



国のあり方にかかわるセンシティビティであれば、各国も簡単には譲歩できないでしょうから、交渉が難航するのも理解できます。



だからこそ、TPPには「柔軟性」が必要なのじゃ。 2013年10月のTPP首脳宣言でも、TPPは「(各国の)発展段階の多様性に配慮する、包括的でバランスの取れた地域協定」と定義されているぞ。

3. 今後の日程

オバマ大統領は、11月に北京で開催されるAPEC 首脳会議にあわせてTPP 交渉の大筋合意に達したい意向を表明しており、甘利 TPP 担当大臣は、「(11月の大筋合意のためには)TPP 交渉参加12カ国の閣僚会合と、その前提として日米の閣僚で大筋合意が必要」という見解を示しています。

9月23、24日に米国・ワシントンで開催された甘利大臣とフロマン USTR 代表による会談後、甘利大臣は、「(日米協議で) さらなる進展を得ることはできなかった。今後の段取りは未定」と述べ、今後の見通しは不透明となっています。

白糠印刷㈱

슾 報 理

10月定例理事会 平成26年10月27日(月)

報告事項

- 1. 専決事項及び諸会議について
- 2. 各委員会・諸会議等について
- 3. 9月末財務状況について
- 4. 事業の実施処理状況について
- 5. 農業協同組合の検査結果について
- 6. 経営定期点検の実施結果について
- 7. 反社会的勢力確定の報告について
- 8. ㈱ジェイエーコムズ取締役会の報告について

付議事項

議案第1号

平成26年度営農振興資金の貸出条件 の設定について

議案第2号 融資の承認について

平成26年度優良肉用牛貸付事業助成 議案第3号 実施要領の制定について

議案第4号 平成26年度森林整備事業の実施につ いて

JA職員共同住宅の解体について 議案第5号 ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

- 1. 秋季地区別懇談会における意見・要望等につ いて
- 2. 第十六回北海道総合畜産共進会(乳用牛部門) 最高位賞受賞祝賀会の開催について
- 3. 役員視察研修について
- 4. 当面の業務日程について

■平成26年度	生乳生産実績(10月)				
	月計乳量(kg)	10月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)	
釧路丹頂農協	8,000,363.0	99.4	57,303,901.9	97.5	
(鶴居地区)	2,711,658.0	98.8	19,274,985.4	98.2	
(幌呂地区)	2,115,309.4	99.0	15,263,385.0	96.8	
(白糠地区)	1,681,641.3	98.4	12,073,315.2	94.2	
(音別地区)	1,491,754.3	102.1	10,692,216.3	100.9	
管 内 計	42,373,013.6	98.4	306,157,698.5	96.7	
(前年度管内計)	43,066,442.2		316,496,699.1		



最新の 営農技術から 農畜産物の 市場見通まで…

購読のお申し込みはJAへ 定価1か月2.520円



- □牛乳の消費拡大運動の取材をさせて頂き感じたのは、牛乳のみを好む人 ブルーベリー味のコツコツミルクを好む人、牛乳が苦手な人など牛乳に対 する好みは人それぞれ全く違い、牛乳の消費拡大とひとことで言っても単 純なものではないということを再認識させられました。 編集後記
- EDITOR'S NOTE
 - □今年の冬至は12月22日で、太陽の高さが一年中で最も低く、夜が長くなり ます。これから冬へと向かうにつれ、寒さもますます厳しくなってまいり ますので、健康管理及び乳牛の飼養管理の徹底に努めてまいりまし